




安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC 12 V ⊖アース車専用です**
DC24 V 車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。シガーソケット等による簡易取り付けは、ETCシステム利用規定違反となります。


作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど


取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

 **分解や改造をしない**
分解、改造は、電波法で禁じられているため、罰則を受けることになります。また、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのには、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

必ずお守りください

取り付けや配線をするとき

警告


 **視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
※ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など


車両のフロントガラスにカメラ装置が装備されている場合は、車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置の動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
※ ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。
取り付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

 **コードを破損しない**
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
● 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
● 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回してください。
● ドライバーなどの先で押し込まないでください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けられない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。